

独V B通じ欧州市場開拓



研究支援用ソフト開発のペンギンシステム（茨城県つくば市、仁衡琢磨社長）は、海外市場を開拓する。医療関連ソフトなどを販売する独ベンチャー企業を通じて、運動学習支援ソフト「見ん者（みんじゃ）」や、病気を発見する検査装置などを欧州域内で売り出す。独での事務所開設も検討する。陽子線治療装置を開発する台湾のベンチャーにもソフトを納める計画だ。これまでほぼ手つかずの海外で顧客開拓を進め、10年後には売上高の約5割を海外市場で稼ぎたい考え。

許諾番号30054306

日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2017年3月13日

日本経済新聞朝刊 9ページ

(C)日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。